

成果の説明書

(氏名) 片岡美喜	(学部) 地域政策学部
1 重要事項	
1. 研究成果	
<学会発表>	
・高津英俊, 片岡美喜「新規就農支援施策の展開と現段階」日本地域政策学会 第20回全国研究【熊本】2021年6月.	
<雑誌論文>	
・片岡美喜「公共調達を通じた食農政策の可能性」『季刊 農業と経済』英明企画編集株式会社, 87(5), pp.173-181,2021年8月.	
・片岡美喜「牛乳・乳製品と現代的消費者」『中酪情報』中央酪農会議, pp.2-3, 2021年11月.	
<書評>	
・片岡美喜「高橋克也編著 『食料品アクセス問題と食料消費、健康・栄養タイトル』『農業経営研究』日本農業経営学会, 第59巻第4号(通巻191号), p. 120, 2022年1月.	
<学会大会個別報告・座長>	
・日本農業経済学会 2021年度大会 個別報告 第1会場 1-1 報告座長	
<外部研究費>	
・研究代表者: 科学研究費基盤 (C)「世界/日本農業遺産地域を軸とした持続的な地域農業マネジメントシステムの形成要因」(2021年~2024年度), 研究課題/領域番号: 21K05819	
・研究分担者: 科学研究費基盤 (B)「気候変動に対する農業経営体次元での適応行動に関わる経営管理理論の構築」(2021年~2025年度、研究代表者: 京都大学伊庭治彦), 研究課題/領域番号: 21H02299	
2. 教育活動	
<担当講義について>	
・地産地消・スローフード論	・エコツーリズム論
・観光資源論	・基礎演習、演習 I、演習 II
・エコツーリズム・グリーンツーリズム特論 (大学院)	
今年度は、対面講義を中心に、配慮学生への対応としてオンラインと併用した講義を実施した。講義を進める際、学生への学習効果の向上と、利便性が高い実施方法とするため、講義用 Microsoft Teams 内でのきめ細やかな告知や双方向での質問受付などの対応、Slido などの双方向ツールを利用した講義に努めた。	
また、講義資料および講義用スライドの改善を行い、講義内容の一層の充実を図った。コロナ禍対応として学生間の発声や接触をできる限り避けており、意見交換ができないため、講義内での学生アンケートや、匿名化したうえで学生の意見を相互にみられるように工夫を行った。こうした取り組みについて受講生からは「他の受講生の意見を知ることができて理解が深まった」「このような工夫を続けてもらいたい」など好評であった。	
<ゼミ活動について>	
2 年生は基礎演習の時間を通じて調査に関する基礎学習を行ったうえで、群馬県みどり市役所観光課の協力を得て、同市の観光課題とその対応に関する調査・研究活動を実施した。「みどり市のアウトドア施設の展望」を調査した班は、複合観光施設・小平の里を調査した。もう一つの班は「みどり市内の観光活動に関する市民参加の現状	

と課題」をテーマに、大間々地域で町おこし活動をする三方よしの会、地域おこし協力隊員の方などへの調査を行い、同市の状況の展望を考察した。これらの成果は、全国エコツーリズム学生シンポジウムにて発表している。

3年生は、群馬県農村整備課が主催している「やまさと応援隊」事業の採択を受けて、群馬県片品村・道の駅尾瀬かたしなと協働した調査・研究活動を実施した。道の駅にて販売する新商品開発および、ネット通販事業の展開に取り組んだ。新商品開発では、学生らは試作を複数回重ね、片品産のきのこや花豆を活用した加工食品の開発を試みている。ネット通販事業については、他の道の駅などの取組を調べたうえで、実際にサイト構築と広報リーフレットの作成を行い、今後の道の駅での運用を予定している。これらの成果は、全国エコツーリズム学生シンポジウムと、県庁が主催したやまさと応援隊活動報告会で発表している。

先述の活動のほか、例年参加している本学、和歌山大学、広島大学、広島修道大学、琉球大学の近い研究領域のゼミナールで毎年合同の現地調査や研究交流を行う「五大学合同ゼミ」は本学が幹事校であり、群馬大会を2021年9月に実施した。本来であれば、参加校を招いて群馬県内で実施する予定であったが、今年度もオンラインで実施した。各大学の紹介やオンライン上での学生交流や討論のほか、本ゼミをご支援いただいている道の駅尾瀬かたしなの星野佳幸氏、本ゼミ卒業生で片品村役場の笠原圭太氏を招いて、地域における振興方策の現状と課題について講演していただいた。

3. 学内業務

- ・教務委員会 副委員長
- ・自己点検自己評価委員会 委員
- ・あすなる市民ゼミ 講師「農業分野における社会貢献型事業の基本概念とその特徴」
2021年9月29日。

4. 社会活動

(1) 学会活動、その他地域活動

- ・地域農林経済学会 第23期理事
- ・研究学会誌の論文査読(3本)

(2) 各種委員会

- ・内閣府総合特別区域の専門家評価に係る委員(まちづくり分野)
- ・関東農政局国営土地改良事業計画に係る技術検討会(再評価・事後評価)委員
- ・群馬県情報公開審議会 委員
- ・群馬県環境審議会 委員
- ・群馬県自然環境保全審議会 自然環境部会 委員
- ・群馬県国土利用計画審議会 委員
- ・群馬県絹遺産推進委員会 委員
- ・世界遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」ガイドスキルアップ事業第3回検討会委員
- ・みどり市観光振興計画策定委員会 委員長
- ・高崎市男女共同参画審議会 副委員長
- ・軽井沢町 22世紀風土フォーラムまちづくり活動支援部会 委員
- ・地産地消コーディネーター(一般社団法人都市農山漁村交流活性化機構)

2 その他の事項

3 次年度以降の計画・抱負

次年度以降の抱負として、現地調査を増やし、さらに理論面、実証面を充実させた研究報告、論文執筆を行うことである。